

令和3年8月3日

学生及び保証人の皆さま

関西医療大学
学長 吉田 宗平

8月2日の緊急事態宣言発出に伴う今後の授業実施方針について

新型コロナウイルスのインド型デルタ株の全国的なまん延に伴い、大阪府下では先月中旬以降に感染者数が急増していることを受け、政府は大阪府に対して8月2日から8月31日までを期間とする緊急事態宣言（通算4回目）を発出しました。

本学では、今年4月下旬のまん延防止等重点措置開始から6月20日の緊急事態宣言解除までは一部の実習・演習系科目を除き原則として遠隔授業を中心に行い、その後も学内のガイドラインに基づく感染防止策を徹底して学科・学年ごとに分散登校する形式で対面授業を再開してまいりました。

また、これと並行して6月28日からは本学を会場とする新型コロナワクチンの職域接種を開始し、7月26日から30日にかけて行った2回目の接種を終えて、全体の8割を越える学生及び教職員が接種を受ける結果となりました。このワクチン接種期間中はやむを得ず授業を一時停止する措置を取りましたが、接種の遂行にあたり学生及び保護者の皆様方からご理解とご協力を頂戴したことに対しまして深く感謝申し上げます。

このように、学生と教職員の8割以上が接種を受けたこと及び学内で学生と接する機会がある学生食堂、購買部、警備、清掃などの外部業者従業員にも接種を拡げたことにより、今後は従来の感染予防対策の強化と徹底に加えてワクチン接種による集団免疫効果が期待できることから、学内における感染拡大やクラスター発生を防止するための一定条件が得られたものと考えております。4回目の緊急事態宣言が発出されたところですが、この状況を踏まえ、本学では感染防止の取組みを強化して一層の安全確保に努めたうえで、宣言期間中も対面による現状の授業実施体制（前期末の定期試験を含む）を維持していく方針を決定しました。

なお、ワクチン接種をしたとしても、学生の皆さんの感染予防には引き続きご家族でのご指導とご協力が不可欠でございます。インド型デルタ株は感染力が強く、従来以上の感染防止意識が必要と言われております。ご家族皆様の日頃の健康管理にも改めてご協力をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、ご家族の皆様のご健康と、新型コロナウイルス感染症の一日でも早い収束を祈念申し上げます。

以上